

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和3年4月】

■調査概要（データ対象期間：令和3年4月1日～4月30日）

○調査期間：令和3年4月26日～令和3年5月19日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業23企業、卸売業12企業、小売業28企業

飲食業16企業、サービス業41企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計140企業>

○調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

# 概況

業況DIはマイナス幅の縮小、水準DIはマイナス幅の拡大

## 1. 業況判断

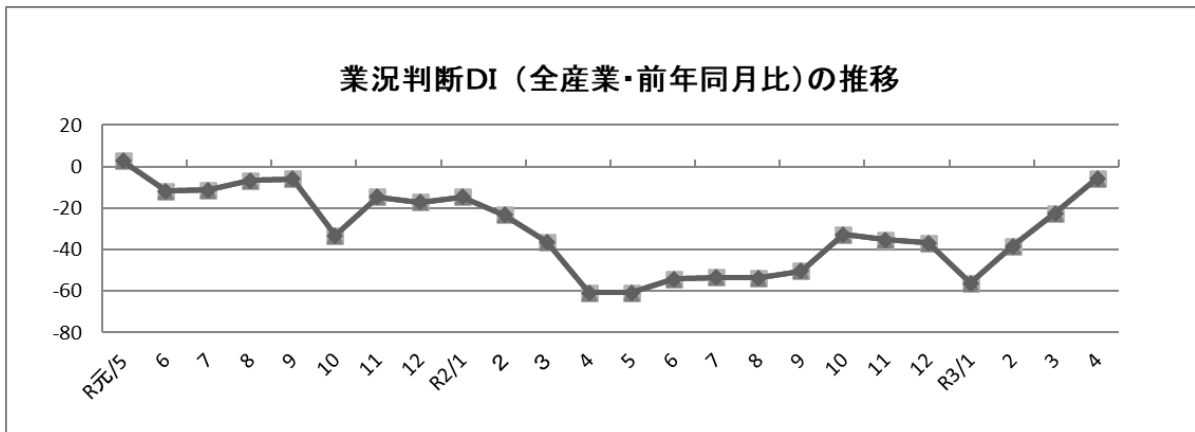
○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲22.4）よりマイナス幅が16.7ポイント縮小し、▲5.7となった。業種別では、卸売業はプラス幅が拡大し、小売業はマイナスから0となった。飲食業、サービス業、製造業ではマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

○全産業合計の水準DIは、前月（▲25.2）よりマイナス幅が6.9ポイント拡大し、▲32.1となった。業種別では、卸売業はプラスからマイナスに転じ、建設業は横ばいとなった。製造業、サービス業、小売業、飲食業ではマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	24.3 (14.0)	45.7 (49.6)	30.0 (36.4)	▲ 5.7 (▲ 22.4)	13.6 (16.1)	40.7 (42.6)	45.7 (41.3)	▲ 32.1 (▲ 25.2)
建設業	0.0 (0.0)	70.0 (80.0)	30.0 (20.0)	▲ 30.0 (▲ 20.0)	0.0 (5.0)	75.0 (65.0)	25.0 (30.0)	▲ 25.0 (▲ 25.0)
製造業	21.7 (13.6)	43.5 (45.5)	34.8 (40.9)	▲ 13.1 (▲ 27.3)	26.1 (22.7)	26.1 (36.4)	47.8 (40.9)	▲ 21.7 (▲ 18.2)
卸売業	41.7 (30.8)	41.6 (46.1)	16.7 (23.1)	25.0 (7.7)	33.3 (30.8)	25.0 (53.8)	41.7 (15.4)	▲ 8.4 (15.4)
小売業	32.1 (22.2)	35.8 (37.1)	32.1 (40.7)	0.0 (▲ 18.5)	17.9 (25.9)	35.7 (29.7)	46.4 (44.4)	▲ 28.5 (▲ 18.5)
飲食業	31.3 (15.8)	12.4 (10.5)	56.3 (73.7)	▲ 25.0 (▲ 57.9)	6.3 (10.5)	12.4 (15.8)	81.3 (73.7)	▲ 75.0 (▲ 63.2)
サービス業	24.4 (9.5)	56.1 (64.3)	19.5 (26.2)	4.9 (▲ 16.7)	7.3 (9.5)	51.2 (52.4)	41.5 (38.1)	▲ 34.2 (▲ 28.6)

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

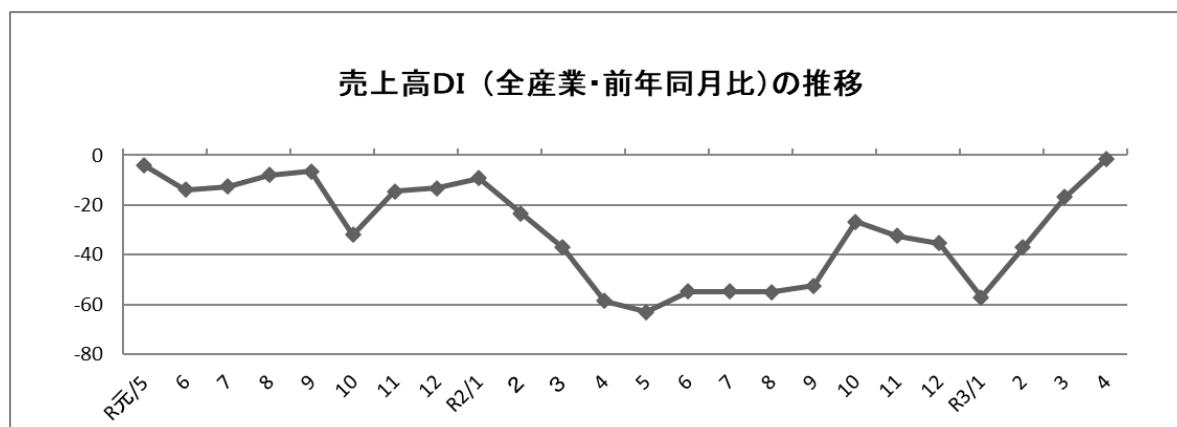


## 2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲16.8）よりマイナス幅が15.4ポイント縮小して、▲1.4となった。業種別に見ると、卸売業はプラス幅が拡大した。小売業、サービス業はマイナスからプラスに転じた。建設業は横ばいとなった。飲食業、製造業ではマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
全 体	▲ 58.6	▲ 63.0	▲ 54.8	▲ 54.8	▲ 54.9	▲ 52.4	▲ 26.8	▲ 32.4	▲ 35.4	▲ 57.0	▲ 37.0	▲ 16.8	▲ 1.4
建 設 業	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0
製 造 業	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7
卸 売 業	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4
小 売 業	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6
飲 食 業	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7
サ ー ビ ス 業	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7

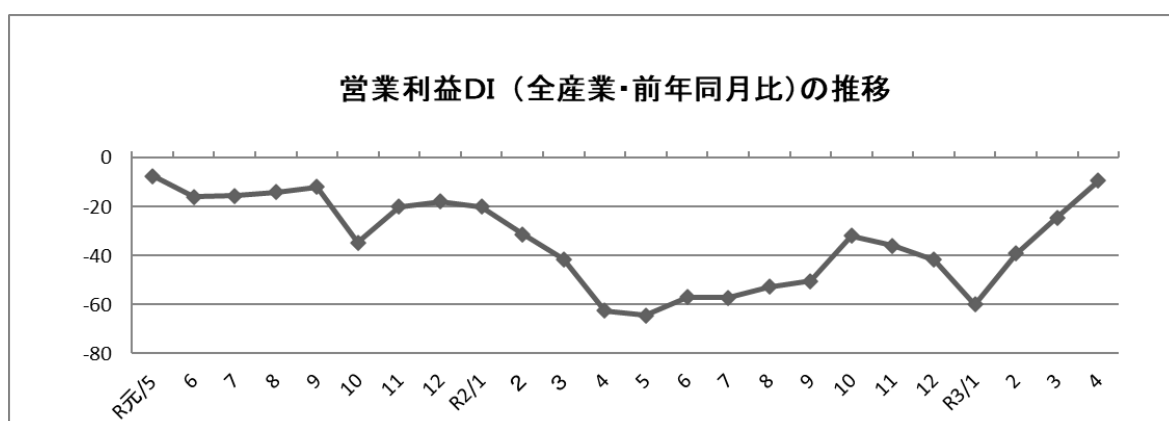


## 3. 営業利益D I（前年同月比）

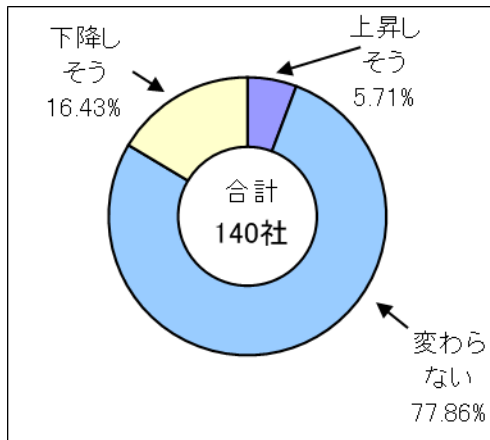
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲24.5）よりマイナス幅が15.2ポイント縮小して、▲9.3となった。業種別に見ると、卸売業はプラス幅が拡大した。サービス業はマイナスからプラスに転じた。小売業はマイナスから0になった。製造業、飲食業ではマイナス幅が縮小した。建設業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
全 体	▲ 62.5	▲ 64.5	▲ 57.0	▲ 57.1	▲ 52.8	▲ 50.3	▲ 31.9	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 39.2	▲ 24.5	▲ 9.3
建 設 業	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0
製 造 業	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4
卸 売 業	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7
小 売 業	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0
飲 食 業	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0
サ ー ビ ス 業	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

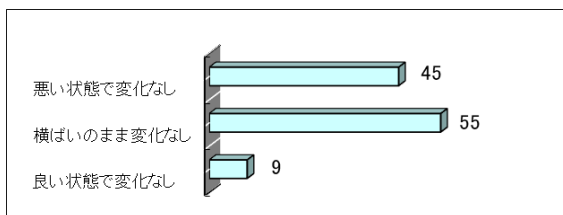


○令和3年5月～令和3年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ4.08ポイント減少し5.71%、「下降しそう」が3.84ポイント増加し16.43%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲5.0)、製造業(0.0)、卸売業(▲16.7)、小売業(▲14.3)、飲食業(▲6.3)、サービス業(▲17.1)であった。

➡「上昇しそう」では「今月が悪く、期待を込めたため」「新規開拓をしたため」(建設業)「昨年のGW～お盆の期間は酷かったため、今年はそれより良いことを期待しているため」「受注が増えてきたため」「新規の問い合わせがかなり増えてきたため」「季節的要因が良い方向に働くと予想しているため」(製造業)「職業訓練受講者数が僅かながら増加傾向のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

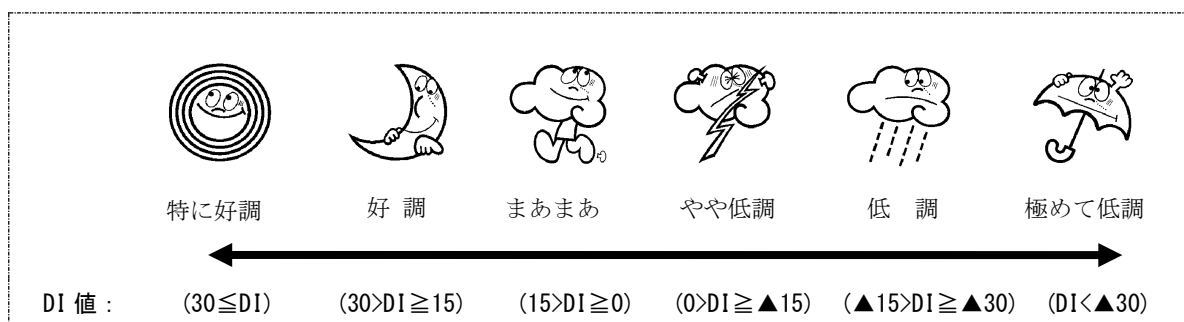
➡「変わらない」では「先行きが見えないため」(製造業)「少しずつ生産が間に合ってきたが、春の繁忙期は終わっているため」(卸売業)「コロナ禍で依然として景気は良くならないため」(小売業)「大型案件の引き合いがなかったため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「木材の品不足のため」「設備投資を控える状況がしばらく続くと思われるため」(建設業)「4月の反動がありそうだと考えているため」「今年の3、4月は前年比で良かったが先が見えないため」(製造業)「暖かくなり、自家栽培の農作物が増えるため」(卸売業)「GWもキャンセルが相次ぎ、その後も予約が入らないため」(サービス業)といった声が寄せられた。また「新型コロナウイルス感染症及び変異株の影響があるため」との声が多数寄せられた。

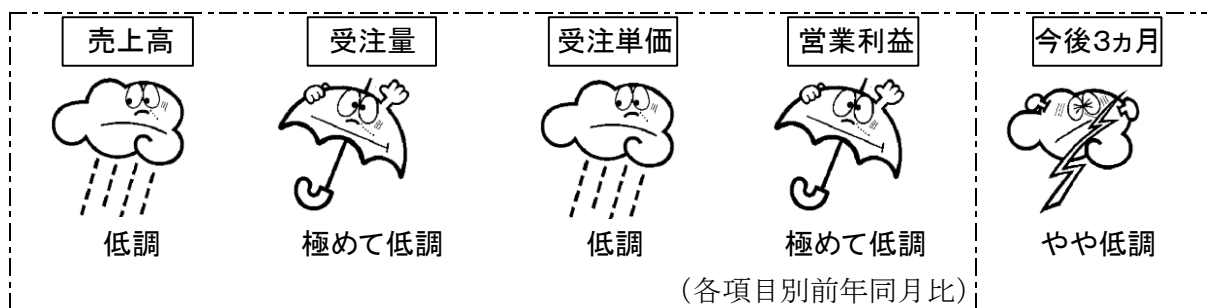


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0
受注量	▲ 55.0	▲ 36.4	▲ 29.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 34.8	▲ 21.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 31.5	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 45.0
受注単価	▲ 15.0	▲ 18.2	▲ 20.8	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 10.5	▲ 13.7	▲ 4.5	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0
営業利益	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0
見通し	▲ 25.0	▲ 13.7	▲ 4.2	▲ 4.6	0.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 4.6	10.5	0.0	▲ 20.0	▲ 5.0

## <経営者の目・見方・e t c >

### 鉄工

- 全国的に新型コロナウイルス感染症が再拡大する中、ワクチン接種やオリンピックの是非など対応は遅く感じるが、民間企業の方は対策や方針が進んできて急回復していると感じる。その動きに遅れをとらないように当社も対応していきたいと考えている。

- 材料鉄材の価格、特に板物が上昇しつつあり、溶媒等も上昇しつつある。

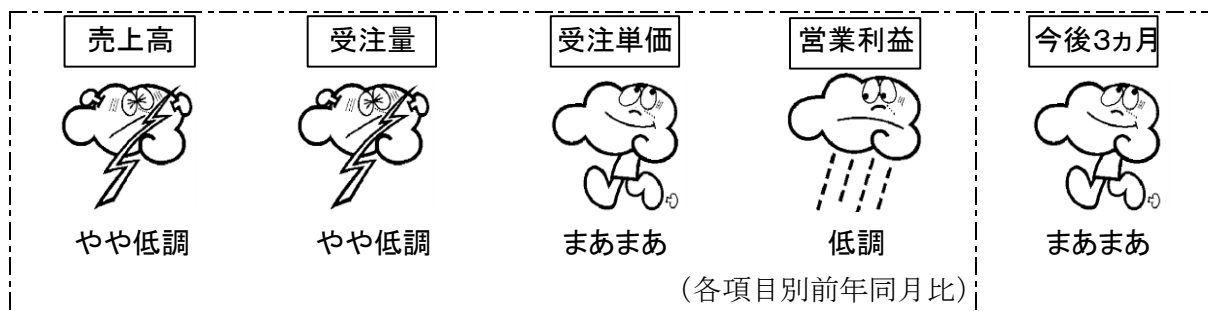
- 新型コロナウイルス感染症の影響が続いており新年度を迎え関係団体、協力会、組合等の総会が全て書面決議となっている。材料費の高騰が見込まれるため、受注活動も慎重にならざるをえない状況となっている。

### 土木工事

- 民間の設備投資や個人住宅の着工件数が減少している。

- 新年度の公共予算は新型コロナウイルス感染症の対策にまわるため低調であると言われている。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7
受注量	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 81.0	▲ 59.1	▲ 52.0	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6	▲ 57.9	▲ 31.8	▲ 13.7	▲ 8.7
受注単価	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4	▲ 21.1	▲ 18.2	▲ 18.2	0.0
営業利益	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4
見通し	▲ 31.3	▲ 30.0	▲ 35.3	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4	15.8	18.2	4.5	0.0

### <経営者の目・見方・e t c>

清酒製造業

・家飲み用の需要は伸びているように感じるが、飲食店をかかえている酒販店や新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の出ている地域は厳しいようである。

紙器

・なかなか安定しない状況で先が見えず落ちたり昇ったりが激しい月だった。

精密機械

・新規の問い合わせが明らかに増えてきており、回復の力強さを感じる。

精密機械組立

・電子部品の入荷状況がよくない。注文があっても生産ができないことがある。

小型情報機器組立

・仕事の内容の違いで差が出ている。

ケーブル加工

・材料の供給不足により、業績が悪化した。仮に入手できたとしても高額なため売価に反映するのは不可能である。

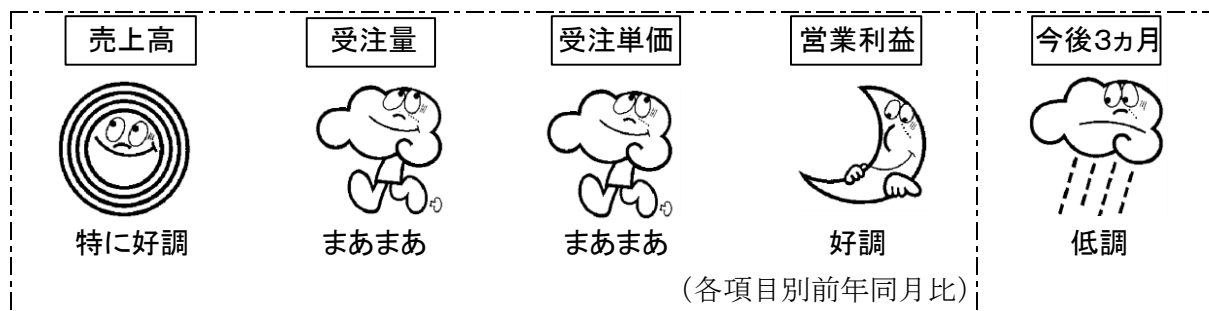
金属塗装

・昨年3、4月が悪すぎた。前年比では良かったがまだ新型コロナウイルス感染症の影響があり見通しが立たない。

印刷

・音声メディア、音声SNSでの情報発信が盛んになってきている。松本ではClubhouseでのゆるキャラが紙面をにぎわしていたが、全国的にみるとSNSのノウハウを個人同士で共有しあい、宣伝広告を自分自身で、複数のメディアやSNSを駆使し、多面的に情報発信できるところまで成長している。共同体が経済を動かすような動きに、果たして信州松本地域は乗り遅れていないだろうか。

### 3. 卸売業








【項目別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4
販売客数	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 33.3	7.7	0.0
販売客単価	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 15.4	▲ 33.4	13.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 41.7	15.4	8.4
営業利益	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7
見通し	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 7.7	▲ 8.3	0.0	7.7	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1	8.4	25.0	7.7	▲ 16.7

#### <経営者の目・見方・e t c >

- |        |   |
|--------|---|
| 青果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の単価安は昨年比76%となり、売上利益共に苦戦している。果実の単価一昨年並だが販売は厳しい。ここ数日の朝の冷え込みで各地で凍霜害に関わる農作物の被害が出ているため非常に心配である。</li> </ul> |
| 青果卸小売業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社としてもいつものお客様はお越しになられる。地域のお店としての役割を果たしたいと考えている。</li> </ul>  |
| 魚介類    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光、宴会等の需要がなく本当に厳しい先行きとなりそうで心配される。</li> </ul>  |
| 土産品    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、GW 前に良いスタートができと思っていたが、緊急事態宣言の発令もあり、発注依頼も少なく厳しい状況である。</li> </ul>              |
| 医薬品    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・GW 後の新型コロナウイルス感染症拡大を懸念している。</li> </ul>  |
| 機械工具   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・良くなってきている。</li> </ul>   |
| 金属製品   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーは強気の姿勢を依然続けており、鋼材全般に大幅な値上げの要請をしている。建築関連は足元物件が薄く、鋼材の値上げの中ではあるが、鉄骨加工賃の下落が心配される。</li> </ul>            |
| 自転車    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品が少しずつ間に合ってきたが、今後も材料の不足がある。一部には新商品の延期が予定されている。前倒して商品確保の必要を感じる。今春は商品が間に合わず、扱えないお店もあったようだ。</li> </ul>    |

## 4. 小売業

売上高  まあまあ	受注量  やや低調	受注単価  やや低調	営業利益  まあまあ	今後3ヵ月  やや低調
--	--	---	--	--

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6
販売客数	▲ 62.5	▲ 68.0	▲ 44.0	▲ 54.1	▲ 30.4	▲ 36.4	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 29.7	▲ 53.9	▲ 20.8	▲ 18.5	▲ 10.8
販売客単価	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 21.7	▲ 31.9	▲ 4.3	▲ 21.7	▲ 3.7	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 14.8	▲ 10.7
営業利益	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0
見通し	▲ 45.8	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 17.4	0.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 18.5	▲ 3.8	0.0	7.4	▲ 14.3

### <経営者の目・見方・e t c>

陶磁器

- 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が全面解除ともなると、満開の桜のもとで聖火リレーも、松本城周辺の夜桜見物も大いに賑わった。桜が散ったころから気温が低めに推移するとともに、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び増加していくと、行楽客の姿が回復することなく、大型連休となってしまった。期待していた大型イベントの中止も相次ぎ、集客を意図した企画も躊躇してしまう。

印章

- 4月から市の各種手続きへの押印が9割近く廃止された。署名があれば良いということのようだが、今後はオンライン申請が主流になっていくのだろうと考えている。コロナ禍でも創業したり業務拡張をするお客様がいらっしゃるの、地域企業としてとても心強いと感じている。

印章・刃物研ぎ

- 人出の回復が始まったかと思った矢先、松本市に長野県新型コロナウイルス感染症感染警戒レベル4が発令された。修学旅行生が来たりと少しは賑わいも見られるが、商売に繋がらないのが現状である。

婦人服

- 4月はイベントが2つありそれぞれポイントや物産とご来店の楽しみがあってお立ち寄りになったがお召しになる目的がなくお買い上げに繋がらないことがいつもより多かった。

燃料

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大と原油価格の動向に注意を払っている。

住宅機器

- 木材が間に合わなくなっており、今後が大変心配である。

パン

- 春休みと桜の開花の重なった4月当初は、来客数と売上共に良い動きだった。

洋菓子店

- 去年と比べると人の動きは多いと感じた。

和菓子

- 3月に比べ、4月は観光客が少なくなり業績が良くないが去年よりは回復した。

おやき

- 新型コロナウイルス感染症変異株が広がってきたためか、店販、卸共に下降してきている。包装を新しくしたので連休に向け期待したい。



生鮮食品

・ 去年の4月は学校が休校大型店は時間短縮営業で食品のみの販売と大変な月であった。今年は先月に続き4月に入っても人の動きがあり忙しくてありがたい。暖かな日が続いたことで気持ちも外に向いている。ただコロナ禍ということには変わりなく収束にはまだ遠い気がしている。

薬局

・ ご高齢のお客様は送りが多く追加もなかった。

## 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7
販売客数	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 68.7	▲ 93.8	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 18.7
販売客単価	▲ 69.2	▲ 81.3	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 64.7	▲ 47.0	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 75.0	▲ 66.7	▲ 81.2	▲ 31.6	▲ 37.5
営業利益	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0
見通し	▲ 46.2	▲ 18.7	▲ 26.6	▲ 23.1	▲ 41.2	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 15.8	▲ 6.3

### <経営者の目・見方・etc>

郷土料理

・ 月始め頃は、年度の変わり目で人出が増えたように感じたが例年の場合も取り消しが多く売上は少ない。月末はGWにつながるが、まん延防止等重点措置などの影響で人出は少ない。

食堂

・ 前半は少人数の予約が入り、売上も良くなったが、後半には新型コロナウイルス感染症変異株が増え人出が減少してきた。  
・ 昨年は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく売上が落ち込んだが、今年は人出がかなり回復してきた。イオンモール周辺も週末はかなりの人出がある。

そば

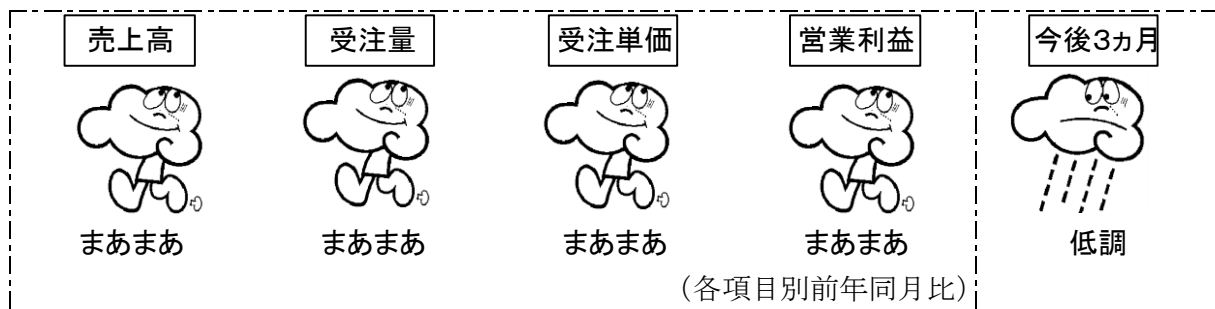
・ 去年に比べると徐々に観光客は増えてきているが宴会等の予約はなく厳しい状況は続くと思っている。桜も開花したかと思えばあっという間に散ってしまい短いお花見シーズンであった。

寿司

・ 新型コロナウイルス感染症の影響は依然あり大変困っている。今後はよくなって景気が上昇していくことを心から願って、今後もより一層前を見て頑張っていきたいと思う。新型コロナウイルス感染症のワクチンの効果も期待している。  
・ 客単価が非常に低くなっている。昼の客と出前及び持ち帰り等のテイクアウトはそれなりにあるのだが、宴会等夜の客がやはり少ないように思う。新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ当分続きそうだ。

- 料理
  - ・4月は桜の開花も早く、すぐに葉桜となった。これも新型コロナウイルス感染症の影響だろうかと考えている。まだ朝夕は冷えを感じ人も動かずお客様も来ない月であった。
- 創作料理
  - ・相変わらずの新型コロナウイルス感染症の影響下、変異株の増加も絡み商売にならない。このような状況に陥ってから15ヵ月を迎えた。感染者数が収まりをみせないと今後はかなり厳しい。報道でよく目にする飲食店の新たな挑戦を見て、こちらも何かやらなくてはと思うが、来店者も少なく手間や売値を考えるとなかなか踏み切れない状況が続いている。来客数が欲しい。
- 居酒屋
  - ・駅前の通りに人の流れがなくなり厳しい状態であった。首都圏からの観光客がおり新型コロナウイルス感染症が拡大するような感じがした。
- 洋風居酒屋
  - ・東京で新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言がでてから再びほぼ凍結状態である。

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7
販売客数	▲ 59.1	▲ 54.5	▲ 63.4	▲ 46.5	▲ 44.5	▲ 41.9	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 34.9	▲ 56.1	▲ 43.2	▲ 11.9	9.8
販売客単価	▲ 31.8	▲ 36.4	▲ 39.1	▲ 25.6	▲ 20.0	▲ 20.9	▲ 8.7	▲ 6.8	▲ 14.0	▲ 24.4	▲ 27.2	▲ 2.4	7.3
営業利益	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4
見通し	▲ 34.1	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 13.4	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 16.0	▲ 23.3	▲ 12.2	4.5	▲ 2.3	▲ 17.1

### <経営者の目・見方・etc>

- 温泉旅館
  - ・昨年の4月に比べれば売上は良いが2019年以前と比べると悪くなっている。要因として、4月後半の第4波に伴う新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きいと感じている。この先の不透明感が否めない。国民全員のワクチン接種が終了しないとこの問題はいつまでも解決しないと考えている。
- 観光旅館
  - ・昨年の4月は県からの休業要請で、営業することさえできなかったのに比べれば、少しは良かった。しかし、緊急事態宣言の出される前から、キャンセルが出て、先の見通しが立たなくなった。従業員を雇ってしまったものの、雇用調整助成金を使って乗り切るしかない。
- ホテル
  - ・宿泊、会議、宴会、すべて今まで経験したことのない悪い状況である。
- 不動産賃貸
  - ・変動なし。
- 理容
  - ・昨年の4月が壊滅状態だったので昨年よりは良かったがまだまだ前の状態に戻る気配はない。我慢は続く。

ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店、売上共に前年並みであったが昨年同様ホテルの利用が新型コロナウイルス感染症により激減し、今後も厳しい状況が続くと思われる。これからも引き続き社員の健康管理も注意していきたい。</li> </ul>
写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月は学校関係入学式等の行事ができて良かった。学校関係でも新型コロナウイルス感染症の感染者がでて、松本圏域でも感染者数が増加している状態である。今後の状態は非常に気になる。婚礼に関しては、形態が変わってきつつあり撮影される方も、お問い合わせも増えてきている。</li> </ul>
教育業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が継続中ということもありイベント等の自粛など主だった動きがない。</li> </ul>
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月は例年、受注が少ない月だがいつも以上に仕事が取れなかった。</li> </ul>
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車のEV化が進んでいる。インホイールモーター方式が今後ますます多くなると考えている。コロナ禍で行動ができにくい。</li> </ul>
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3、4月の人の移動が多い時期にコロナの影響も大きく車の売れ行きも良くなかった。半導体不足も生産に大きく影響していて、カーナビゲーションなども生産されていない状況で、先行きが不透明なところはとても不安である。</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年同月は新型コロナウイルス感染症の拡大が始まった時期で、それと比べると人の動きは増えてきたが、また第4波ということで厳しい状況が続くそうである。</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での日本のIT力について無力感を感じる。地方の中小にとってはありがたい下請構造だが、今回なんの役にも立たなかった。ITにおける事態悪化の要因は、ひとつにこの多重請負構造にあると思われる。</li> </ul>